## 津波シェルター (水没船底型)

manaho





## 水没船底型津波シェルター

- テレビで大津波を見た。海辺で10 mビリレの屋上でも、15mの大津波が来たら、逃げられない。助からない。15mの高台を造り住居を造っても、もし、20mの大津波が来たらと思りと夜も眠れない。いっかきで、我が家はこの世から消し去られてしまりかと、不安ばかりが心に残る。家族皆んな無事生きていさえすれば、きで何とかなる。生きる支えがあると思いつつ。
- ②或る朝、テレビのニュースを見た。 転覆した船底でたった 45~6畳 ほどの船底 空向で3人が3日も生きていた。 呼吸 が出来ていた事を知って喜んでいながら、ふと考えた。

大津波でもたった1時向の向この船底にジーとしていたら、水が引いて助かるんだ。どんなに高い大津波でも、水さえ引けば助かるんだと。この船底空向の空気は多少圧縮され濃い空気であるけれど。3日向左1時向に換算すると、何と216人も、この船底に居て助かるかもしれない事が分た。→→何~~だ、水没船底型津波河ルターを造ればイイんだと。

3(水没船底型津波シェルター)を造る試算をしてみた。 3ANHK放送で(人は4秒に1回500mlの吸吸する)と言っていた。 1時間に換算すると450しになる。2倍余裕みても900し あれば、1時間呼吸出来ると仮定した。 **3B** 953mx 3J3mx高さ3m の27mで自BoXが2階にある建屋を考えると(2mx1000~900l=30人分呼吸)この5.6畳の空自に入りきれない30人分が津波から逃げ込めるんだと、試算した。

3-C こんな鉄筋コンクリートの小さな水没船底型シェルターは町内の小公園の片隅に誰にでも簡単に造れるんだ。ついでに鉄筋とコンクリートを提供してくれるスポンサーを見っければ後は型枠さる準備して、順次造ればイイ。すぐに今住んでいる住居から避難出来る事が分た。

▼D町の土建業者の皆さんが救世主になるんだ。 雇用の場の確保んもなるんだ。早く早く東南海大津 波が来る前に。早く~~早く~~してよ。 4 この津波シェルター(水没船底型)の建築コストを試算する。 30cm厚の鉄筋コンクリト建築にすると

> -生コンは約40m3/必要で約45万円--鉄筋は13D×約800mで約1万円 - 合計約53万円 -アルミ製ハシゴ4~5mで約2万円 ---扉は約5万円

「鉄筋コンクリート建築の型枠は無償貸与 上型枠組立・解体は町内会ボランティア。

「約5坪の土地は町内小公園の土地利用 しか、地元篤志家の無償貸与。

こんな目安で30人避難できる場の早急な確保が必要。1ヶ所町内自己責任で建るとイイヨ。





